

組織目標管理シート

| | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|------------------------------|--|-----|---------|
| 年度 | 令和5年度 | | (参考) 関連する総合計画に おける政策指標 | ・市政情報の取得満足度 ・地域団体、民間事業者、学校などの多様な主体との協働数 | 作成日 | R5.4.1 |
| 組織名(部) | 南区役所 | 組織名 (準部・課・機関名) | 地域総務課 | | 評価日 | R6.3.31 |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 | |
|-----|--|------------------|------------------------------|-----------------------|----------------------------------|---|---|--------|--|--|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | | 概要 |
| 1 | 地域防災活動の中心的人材の確保、育成を進め、持続的かつ質の高い地域防災体制の確立を目指します。 | | 防災士資格新規取得者数 | 3人 | 7人 | 防災士育成助成(市単) | 防災士資格取得に係る経費補助により、地域が行う防災の担い手確保を支援する。 | ○ | ・5名が市単助成を活用して取得(茨曾根、小林、臼井、鷲巻、味方 各1名) ・2名はコミ協費で取得(大通、小林 各1名) | 南区で70人(各コミ協で5名)を確保するべく掘り起こしを継続。 (南区防災士数=令和5年度未現在59人) |
| | | | 自主防災訓練実施率(対象23団体) | 100% | 100% | 自主防災組織活動助成(市単) | 防災訓練実施に係る経費補助により、地域が定期的かつ持続的な自主防災活動を実施できるよう支援する。 | ○ | 6月から11月までの間に各団体ごとの実施を確認。 | 活動の定着、質の向上のため重点支援を継続。 |
| 2 | 「南区と白根高校との連携・協力に関する協定」に基づき、相互の密接な連携と協力のもと、地域と協働しながら、「若い力」をまちづくりに生かし、「活力あふれるまちづくり」、「持続可能なまちづくり」につなげていきます。 | 行財3-2-③ | 情報共有・意見交換の会議や勉強会の開催回数 | 6回 | 6回 | 白根高校とのまちづくり連携事業 | 白根高校と連携し、南区のまちづくりや白根高校の魅力化などに対する取り組みを実施する団体を支援し、白根高校と団体及び団体相互の情報共有や意見交換を行う。 | ○ | 白根高校、創生会議、公民館、区役所などによる取り組みを推進。 ・情報共有・検討会 3回 ・連携成果発表会 1回 ・次年度検討会 2回 | 情報共有・検討会をはじめ、sns発信の体制整備や連携成果発表会を開催する。その他、必要により関係団体への支援を実施。 |
| 3 | 区内の生活交通を維持するとともに、利便性を高めます。 | | 区バス運行を支援する協賛広告数 | 現状値以上(令和4年度45件) | 現状値以上(令和5年度45件) | 区バス運行事業 | 区バス運行財源の一部となる協賛広告の維持拡大に取り組むことで、既存路線の維持に努めます。 | ○ | R5年度中に3事業者の入れ替えがあったが、目標を達成することができた。 | 引き続き、区バス運行を支援する協賛広告数を維持・確保することで、既存路線の維持に努める。 |
| 4 | 区民や地域が区政に参画し、区役所と協働で地域課題を解決するために必要な情報を、区役所だよりや区のホームページなど既存の広報媒体を充実させ、SNSを活用して発信することで、共有します。 | | 区公式PRツイターのツイート数 | 区公式PRツイターでのツイート件数250件 | 区公式PRツイター(エックス)でのツイート(ポスト)件数417件 | ・区公式PRツイターのツイート ・区役所だよりの発行 ・区ホームページの運営 ・エフエム新津ラジオの出演 | 様々な広報媒体や、区のイメージキャラクターを活用した区の情報や魅力を発信します。 | ○ | 区公式PRツイター(エックス)のツイート(ポスト)件数417件 | 引き続き区公式PRツイター(X)を活用した情報発信を行う。また、その他の広報媒体でも積極的に情報発信を行い、区のPRを実施。 |
| | | | 大風を擬人化したキャラクター「風っこ13人衆」の活用件数 | 活用件数30件 | 38件 | ・大風を擬人化したキャラクター「風っこ13人衆」の活用 ・市政情報モニターの活用 ・区の動画チャンネルの活用 | | ○ | 「風っこ13人衆」の活用件数 ・区役所だより24件 ・報道資料11件 ・その他3件 | キャラクターを使用した広報を引き続き行い、キャラクターを使用できるものや場所を増やして、積極的にPRするとともに区のPRを実施。 |
| 5 | 重要文化財旧笹川家住宅や世界最大級の風の博物館であるしろね大風と歴史の館の魅力向上のため、展示替えやイベント事業を開催するなど新たな魅力の創出に努めるとともに、魅力を発信します。 | | 展示替えやイベント事業の実施箇所数 | 3箇所 | 3箇所 | 旧笹川家住宅、曾我・平澤記念館、しろね大風と歴史の館の館における各事業 | 文化施設の展示替えや地域内外に発信できる事業を行うことで、施設のさらなる魅力向上及び知名度向上の推進に取り組めます。 | ○ | 旧笹川家住宅:ホテル観賞会、ガーデニングプロジェクト、夏かざり、和のヒカリ曾我・平澤記念館:ゆかりの講演会、味方陶芸愛好家作品展、味方書道愛好家作品展、味方植物画愛好家作品展 風館:夏・秋まつり、特別展示「白根の風絵師たち」「昭和の風景」「U25風展」「生け花展」「風合戦ポスター展」「しろね絞り展」「ちびっこ風絵展」 | 引き続き各施設において展示替えや新たな企画などを行い、施設の魅力向上及び知名度向上の推進に努める。 |

組織目標管理シート

| | | | | | |
|--------|-------|------------------------------|---|-----|---------|
| 年度 | 令和5年度 | (参考) 関連する総合計画に おける政策指標 | 市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 1人1日当たりごみ総排出量 市政情報の取得満足度 | 作成日 | R5.5.2 |
| 組織名(部) | 南区 | 組織名 (準部・課・機関名) | 区民生活課 | 評価日 | R6.3.29 |

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 | |
|-----|---|------------------|--|--------------------|---|--|---|--------|---|---|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | | 概要 |
| 1 | 市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。 | 行財1-1-① | ・窓口アンケートの実施による過去3年間の平均点数 ・滞在時間のスムーズさに係る質問を除く全項目を対象とし、「悪い」「とても悪い」と評価された件数(件) | 4.64 0 | (前期4.63) (後期4.82) 平均4.73 1 | ・窓口アンケートの実施 ・南区役所サービス憲章の推進 「笑顔できめ細かな声かけ」「公平で公正な対応」 | | △ | 窓口アンケートの令和5年度実績は4.73と目標の4.64を上回ることができました。また、「悪い」「とても悪い」の評価は、前期に1件「庁内の案内表示が悪い」との評価があり、目標を達成できませんでした。 | 引き続き、南区役所サービス憲章を推進していきます。 |
| 2 | 循環型社会の実現に向け、3Rの取り組みを行い、区民の意識醸成を図ります。また、未来を担う子どもたち向けに環境教育を行い、関心や意識を育みます。 | 政策16-2-① | ①段ボールコンポスト年間販売数(個)前年度以上 ②地域会合、地域の祭り、イベント等でのプロモーション回数(件) | 130 5 | 93 7 | ・南区イベントでの啓発活動 ・段ボールコンポストの普及啓発 ・未来を担う子どもたちへの環境教育活動 | ・地域の会合やイベントに出向き、ゴミの減量化とその手段・方法についての啓発を行います。 ・段ボールコンポストを使った、誰でも身近で簡単にごみの減量化ができるSDGsの取り組みを浸透させていきます。 | △ | 令和5年度の段ボールコンポスト年間販売数は93個で、前年度の販売数を上回ることができませんでした。また、地域会合やイベント等でのプロモーション数は7件で目標を超える実績を上げました。 | 引き続き、保育園等との連携イベント及び地域の会合やまつりで啓発活動を行い、区民からごみの減量化を進めてもらうほか、段ボールコンポスト購入者の満足度を高めるため、個人やグループに対して、対話などによる使用方法やアフターフォローを行っていきます。 |
| 3 | 課の取り組み内容を効果的な発信手段を用いて区民へわかりやすく伝えることで、その効果を高めていきます。 | 行財1-1-① | 南区Twitterへ掲載する各活動報告記事の閲覧者数 | 各ツイートの閲覧回数1,000回以上 | 8/10 | ・各種啓発活動の紹介 ・未来を担う子どもたちへの環境教育活動の紹介 | 家庭から出る生ごみを、子どもたちが自ら堆肥化し、その堆肥を利用した野菜の栽培と収穫も行い、実際に食べてもらう体験を通して、今後、環境問題等へ取り組むきっかけづくりを行います。 | × | 10ツイート中8つのコンテンツで1,000回以上閲覧されましたが、2つのコンテンツで1,000回を下回りました。ただし、10ツイートの平均閲覧数は、1,215回を記録しています。 | 市民の関心を引くコンテンツの作成手法について、インフルエンサーなどの記事を参考に発信していきます。 |

組織目標管理シート

| | | | | | |
|--------|-------|--------------------------|---|-----|-----------|
| 年度 | 令和5年度 | (参考) 関連する総合計画における政策指標 | ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・地域コミュニティ協議会における活動状況・人員体制・財政状況などの自己目標達成度 | 作成日 | 令和5年4月1日 |
| 組織名(部) | 南区役所 | 組織名 (準部・課・機関名) | 区民生活課味方出張所 | 評価日 | 令和6年3月31日 |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|--|------------------|--|-----------|-----------|---------------------------------------|---|--|---|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 市民が利用しやすい窓口を目指し、市民満足度を向上させます。 | 行財1-1-① | 窓口アンケート年平均点(5点満点、小数点以下2桁有効) 「悪い」「とても悪い」の評価件数(件) | 4.51 0 | 4.52 0 | ・南区役所サービス憲章の推進 ・幅広い要求に対する窓口対応能力の向上 | 職員一人ひとりが南区役所サービス憲章(笑顔・迅速・丁寧なサービスの提供)を遵守し、市民満足度の向上に努めます。 | 7月と12月に実施した窓口アンケート(49件)の集計結果は、平均で4.52となり、目標を達成しました。また、「悪い」「とても悪い」の評価はありませんでした。 | 南区役所サービス憲章(笑顔・迅速・丁寧なサービスの提供)を遵守し、市民満足度の向上に努めます。 |
| 2 | 地域の活性化や課題解決のための取り組みを住民とともに考え、基本となる地域組織の自立を支援します。 | 政策1-1-① | 味方地区コミュニティ協議会支え合いの仕組みづくり会議出席回数 | 10 | 7 | ・コミュニティ協議会の自立支援 | 味方地区コミュニティ協議会が立ち上げた「支え合いの仕組みづくり会議」の一員として、地域の高齢化問題に取り組み、地域の安心安全と活性化を支援します。 | 7月からサービス(みんなのみかた応援隊)を開始することができたため、会議は活動報告会へ移行し、隔月開催となりました。全7回、すべてに出席しました。 | 生活支援、移動支援など提供メニューの充実とボランティアの確保も課題となっています。引き続き、行政としての助言を行っていきます。 |
| 3 | ごみの減量化を推進します。 | 政策16-2-① | 新潟市地球温暖化対策実行計画(R1年度～6年度)で示す温室効果ガスを排出する燃やすゴミの量がH29年度実績を超えない | 100%以下 | 64.4% | ・味方出張所(所内ほか所属排出量含む)が排出する燃やすゴミの減量 | 市役所もCO2を多量に排出する大規模な事業所の一つとして、率先して燃やすゴミの減量に努めます。 | 出張所のほか4所属の排出量が含まれているため、これらの組織へも継続してゴミの分別と減量化を注意喚起したことから、目標を達成することができました。 | ゴミ分別の徹底、事務のペーパーレス化を呼びかけ、資源化とデジタル化の両輪で、燃やすゴミの排出量抑制に努めていきます。 |

組織目標管理シート

| | | | | | |
|--------|-------|--------------------------|---------------------------|-----|---------|
| 年度 | 令和5年度 | (参考) 関連する総合計画における政策指標 | 市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う割合 | 作成日 | R5.4.1 |
| 組織名(部) | 南区 | 組織名 (準部・課・機関名) | 区民生活課月潟出張所 | 評価日 | R6.3.29 |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 | |
|-----|---|------------------|----------------------------------|---|-------------|------------------------|---|--------|--|--|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | | 概要 |
| 1 | 市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。 | 行財1-1-① | 窓口アンケートの平均点数 「悪い」「とても悪い」の評価件数 | 4.60以上 (令和4年度:4.76点) 0件(令和4年度:1件) | 4.70点 1件 | 窓口アンケートの実施(年2回) | 全国統一窓口アンケートに準じて実施する。アンケート結果は所内で共有することで市民対応の質の向上に取り組みます。 | △ | 1回目、2回目とも30件のアンケート調査を行い、平均で4.70点と目標を達成しました。 1回目のアンケートで「庁内の案内表示」の設問で「悪い」が1件あり、目標未達成となりました。 | 庁内の案内表示は2回目のアンケートで改善し、2回目のアンケートでは「悪い」はなかったが、今後も庁内を点検し常に改善するようにします。 |
| 2 | 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の優先順位に従い、廃棄物の減量と適正処理を進めます。 | 政策16-2-① | 燃やすごみ量の削減 | 210kg (令和4年度:165kg) | 210kg | 排出ごみ量の情報共有及び分別徹底の定期的周知 | 排出ごみ量の情報共有、分別徹底を職員に周知し、燃やすごみ量の削減に取り組みます。 | ○ | 排出ごみ量の情報共有、分別徹底の定期的な周知を行い、目標を達成しました。 | 今後も情報共有、分別の周知を行い、地球温暖化対策実行計画の実践、3Rの推進及び庁舎管理経費の節減に努めます。 |
| 3 | 角兵衛獅子など地域固有の伝統芸能の魅力を発信し、後継者育成に取り組みます。 | | 月潟まつり、角兵衛獅子のPR回数 | 3回 (令和4年度:2回) | 5回 | 新聞等報道関係への掲載回数 | 月潟まつりや角兵衛獅子のPRを行い月潟地区の魅力を発信するとともに後継者育成に取り組みます。 | ○ | TeNY医療の広場(1回)、燕三条エフェム(1回)、新潟日報(2回)、県観光協会ブログ(1回)で月潟まつり、角兵衛獅子のPRを行い目標を達成しました。 | 角兵衛獅子の舞は月潟地区の伝統芸能であり、月潟まつりの時期に関わらず今後もPRしていきます。 |

組織目標管理シート

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|-------|------------------------------|------------------------------------|-----|---------|
| 年度 | 令和5年度 | 組織名 (準部・課・機関名) | 健康福祉課 | (参考) 関連する総合計画に おける政策指標 | ・新潟市は子育てをしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命 | 作成日 | R5.4.1 |
| 組織名(部) | 南区役所 | | | | | 評価日 | R6.3.31 |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 | |
|-----|--|--------------------|----------------------------------|-----------------------------------|---|--|--|--------|--|---|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | | 概要 |
| 1 | 子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保するため、既存施設を活用し、地域との連携を図りながら児童館等を運営していきます。 | 政策4-1-⑤ | 児童館の利用人数 | 前年度以上 (R4年度 89,610人) | R5利用人数 106,551人 | 児童館の運営・支援 | 安心・安全な遊び場環境を作り、集团的、個別的な遊びの育成援助活動を実施します。 | ○ | 区内4つの児童館・児童センターにおいて、地域との連携事業や職員が地域に出向いて遊びを提供する「移動児童館」を実施したことにより、来館者が増加しました。 | 移動児童館を実施している地域からは継続の要望や、他地域からも実施の要望があるなど、移動児童館のニーズが区内にあると認識しています。今後も移動児童館の実施により、児童館の魅力を発信し、児童館等の利用促進を図り、子どもたちの居場所の確保に取り組みます。 |
| 2 | 障がい福祉に関する支援体制充実を図るため、研修会を通じて関係する専門機関の連携を深めます。 | | 関係機関の連携推進 | 推進 | 推進を図ることができた。 | 関係機関合同研修会の開催 | 早期に適切な支援につなげられるよう、関係機関を対象とした講義や参加者による意見交換などを実施し、連携を推進します。 | ○ | 6月21日に保育園や学校、放課後児童クラブ、福祉事業所など71名の参加により関係機関合同研修会を開催しました。講演とグループワークを行い、開催後の参加者アンケートでは、今後の連携に役立つとする回答が9割を超えました。 | 専門機関の連携により一層深まるよう、南区障がい者地域自立支援協議会(児童ワーキング会議)において効果的な研修内容について検討しながら、継続的に取り組んでいきます。 |
| 3 | 子どもから高齢者まですべての区民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう支え、健康寿命の延伸を図ります。 | | ミニドック型集団健診(未受診者健診)受診者数 | 前年度以上 (R4年度 157人) | 3年連続特定健診未受診者数:3,047人 ミニドック型集団健診受診者数:152人 | ミニドック型集団健診(未受診者健診)の実施 ・保健師による特定健診の電話勧奨 ・保健指導の実施 ・健診の結果、要受診となった方への受診勧奨 | 特定健診とがん検診が同時に受診できるミニドック型集団健診を実施し、集団健診での受診をきっかけに継続した健診受診を促進します。また、対象者に合わせた保健指導を行い、健康意識の向上を図りながら、主体的な健康づくりへの取組みを支援します。 | ○ | 10月26・27・31日の3日間、未受診者健診を実施しました。3年連続特定健診未受診者3,047人に対し、8月23日に手紙で、9月12日から保健師による電話での受診勧奨を実施し、164人の申込みにつながり、そのうち152人が受診しました。(受診率4.99%) | ミニドック型集団健診の受診率を向上し、受診の結果、要受診となった方(76.3%)へは医療機関への受診を勧め、結果確認を行います。このように、区民が主体的に健康行動がとれるよう、健康意識の向上を図り、生活習慣病への移行を防ぐように今後も働きかけていきます。 |
| 4 | 高齢者が地域の中で生きがいを持ちながら役割を果たせる環境づくりを進めるため、「地域の茶の間」をはじめとした住民主体で支え合う地域づくりの支援を行います。自治会・町内会、地域コミュニティ協議会などの地域団体や、様々な分野で公益活動を展開するNPOなど各種市民団体と連携した取り組みを推進します。 | 政策7-1-① 行財3-2-② | ・地域の茶の間の総設置件数 ・訪問型生活支援の活動団体の数 | 前年度以上 (R4年度 65件) (R4年度 2か所) | ・地域の茶の間の総設置件数:67件 ・訪問型生活支援の活動団体の数:5か所 | ・地域の茶の間の充実 ・身近な生活支援体制の構築 | 地域が主体となって進める助け合いや支え合いの活動に対して、支え合いのしくみづくり推進員を中心に、関係機関と連携しながら支援を進めています。 | ○ | 大通地区で新たに2か所の茶の間が設置されました。うち1か所は運営者・参加者ともに男性が中心となって立ち上げられた茶の間の間で、男性の参加が少なかった茶話会中心の従来型茶の間とは異なる取り組みとして注目しています。また、新たに庄瀬、白根、味方の3地区で訪問型生活支援の活動が始まりました。3地区ともコミュニティ協議会が主体となって、草取りやゴミ出しといった高齢者の日常におけるささやかな困りごとへの支援を行っています。 | 訪問型生活支援については、「南区生活支援サービスサミット」を開催し、活動5団体による実践報告や情報交換を行いました。サミットをきっかけに団体間で横の繋がりが生まれたことで、活動面での連携が期待できるとともに、来年度以降もこうした会を開催できるよう引き続き取組みを進めていきます。 |

組織目標管理シート

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|-------|--------------------------|--|-----|---------|
| 年度 | 令和5年度 | | | (参考) 関連する総合計画における政策目標 | 一人当たり市民所得(市民経済計算による一人当たり市民所得) ・農業産出額推計値 ・仕事に対する職員満足度 | 作成日 | R5.5.2 |
| 組織名(部) | 南区役所 | 組織名 (準部・課・機関名) | 産業振興課 | | | 評価日 | R6.3.31 |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|--|------------------|-------------------------------------|-------|----------|--|----|--|--|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 商店街が商業機能に加え、世代を超えて人々が交流する機会を創出するなど、地域住民やコミュニティが求める多様なニーズに応え、持続・発展できるよう、地域の実情に合わせ支援します。 | 政策8-1-④ | 商店街が連携して取り組む事業数 | 5事業 | 9事業 | ・つながる商店街支援事業 ・地域を支える商店街支援事業 | ○ | ・新飯田まつり ・お祭り広場 ・庄瀬楽しモッテ広場 ・しろね祭り ・月潟プレミアム商品券 ・月潟大道芸 ・味方イルミネーション ・北海道様似町商業交流 ・マイタウンしろね商品券 | 引き続き、商店街エリアなどの賑わい創出事業を支援し、複数の商店会などの連携事業の実施を推進します。 |
| 2 | 南区が誇る観光文化資源を活用し、あらゆる手段で魅力を発信することにより、交流人口の拡大につなげます。 | PRの取り組み | まち歩きイベントの参加者数 | 300人 | 1,093人 | ・歩いて発見！南区1.8km | ○ | ・まち歩き春 108人 ・スマホまち歩き 22人 ・まち歩き秋 97人 ・ミニマンホール 7人 ・レルヒさんはどこだ 98人 ・謎解き風館 761人 | まち歩きに係る各種イベントを実施し、まち歩きの魅力発信と交流人口の拡大に努めます。 |
| | | | | 7件 | 12件 | ・風合戦ライブ配信 ・まち歩きイベント ・物産展参加 ほか | ○ | ・風合戦ライブ配信 ・スマホ写真講座 ・ミニマンホールさんさがせ ・新潟妖怪まつりに出店 ・ラブラ方代サマーイベント出店 ・新潟競馬場物産展参加 ・表参道ネバス物産展(秋) ・レルヒさんはどこだ(味わい市場) ・渋谷区くみの広場に出店 ・食花マルシェ ・表参道ネバス(冬) ・謎解き風館 | 引き続き南区の魅力を発信する事業を実施し、PRに努めます。 |
| 3 | 意欲ある担い手への農地の集積・集約化を効果的に推進し、生産性の向上を図るとともに、スケールメリットを活かした農業経営が展開できるよう取組を進めます。 | 政策9-1-① | 認定農業者等への農地集積率 | 74% | 74.8% | 機構集積協力金事業 | ○ | R6.2総会分まで(中間管理のみ)107.5ha 4,128ha/5,513ha≒74.8% (参考) R5.3末 72.9% 4,021ha/5,513ha | 離農や規模縮小する農家から担い手への利用権設定手続き等、引き続き農業者に対して支援を行います。 また、令和5年度に、分散した農地の連担化を図る集約化の取組を行った味方地区や、令和6年度から圃場整備事業が始まる予定の月潟地区について、引き続き支援を行います。 |
| 4 | 田園環境や景観など新潟市の地域資源を良好に保つ地域の取組を進めます。 市街地の近傍や上流域には水田が広がり、多くの排水施設等が位置しており、これらの農地・農業水利施設の多面的機能を活かして流域治水を推進します。 | 政策9-2-① | 多面的機能支払交付金事業によって広域的に保全管理される農用地面積の割合 | 90%以上 | 92.10% | 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮 | ○ | 農用地・水路・農道等の地域資源の適切な保全管理の推進を目的に、農業者や地域住民が実施する共同活動を支援します。また、水田の雨水貯留能力を高める田んぼダムの取組を推進します。 | 保全会の取組面積(交付対象面積)/区内農振農用地面積(農道水路・施設用地除く)=5411.49/5869.7=92.1% 今年度が5年間の事業計画終了年度となる保全会が11/13組織ある。継続して農地保全活動に取り組んでもらえるよう研修会を通して支援を行います。 |
| 5 | 全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入を進めます。 | 行財1-4-② | 年次有給休暇の取得日数の向上 | 14日 | 14.14日 | 年次有給休暇の計画的取得 | ○ | 休暇が取得しやすい職場環境を整えます。 | 引き続き休暇が取得しやすい職場環境を整えます。 |

組織目標管理シート

| | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|------------------|-------------|-----|-----------|
| 年度 | 令和5年度 | (参考) | 関連する総合計画における政策指標 | 文化的な環境への満足度 | 作成日 | 令和5年4月1日 |
| 組織名(部) | 南区 | 組織名 (準部・課・機関名) | 建設課 | | 評価日 | 令和6年3月31日 |

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 | |
|-----|---|------------------|------------------------------------|--------|----------|---------------------------------|--|--------|--|--|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | | 概要 |
| 1 | 道路・橋りょうの整備・維持補修を早期に実施し、事業効果の早期発現を図ります。 | | 上半期の工事発注率(%) (発注件数 / 当初予定件数) | 80%以上 | 93% | 工事、委託業務の早期発注 | 1回 / 毎月、発注状況の確認と予算執行管理の実施 | ○ | 当初の発注予定件数 37 実際の工事発注件数 43 発注率 93 | 今後も工事発注の平準化に努め、事業効果の早期発現を図ります。 |
| 2 | 工事現場の安全管理の向上と事故防止に取り組みます。 | | ・通常パトロールを年間8回実施 ・夜間パトロールを年間4回実施 | 12回 | 12回 | 安全パトロールを定期的に実施 | ・昼間 年8回(4、5、7、8、10、11、1、2月) ・夜間 年4回(6、9、12、3月) | ○ | ・通常パトロールを年間8回実施 ・夜間パトロールを年間4回実施 | 工事現場の事故防止に取り組みます。 |
| 3 | 市民文化遺産である旧月潟駅かぼちゃ電車の新たな魅力を創出するとともに交流人口の拡大に取り組みます。 | 政策2-3-① | イベントの開催回数(回) | 3回/年以上 | 4回 | 市民文化遺産である旧月潟駅かぼちゃ電車を活用したイベントの実施 | 市民文化遺産である旧月潟駅かぼちゃ電車を活用したイベントを開催し、新たな魅力を創出するとともに交流人口の拡大に取り組みます。 | ○ | 旧月潟駅かぼちゃ電車のイベント活用(4回) (2023桜まつり(夜桜ライトアップ、ファミリーコンサート)、月潟まつり、走れ! かぼちゃ電車2023、ハロウィンライトアップ) TV(3)PC(4) | 今後もかぼちゃ電車を活用したイベントを実施するなど更なる交流人口の拡大に取り組みます。また、車両の保存についても検討します。 |
| 4 | 効率的な業務遂行につながるよう職員の職務能力を高めます。 | 行財1-4-① | 研修実施回数(回) | 4回/年以上 | 4回 | 課内で研修会の実施 | 職員の積極的な研修参加や課内勉強会を開催し、職員の能力向上を図ります。 | ○ | 課内研修を4回実施 | 課内研修を通じ、職員の事業遂行能力の向上を図ります。 |